

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年07月11日

計画の名称	大規模震災時に優先して啓開すべき道路の整備（防災・安全）													
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	宮崎県													
計画の目標	南海トラフ地震の発生による甚大な被害が危惧されるため、「九州道路啓開計画」に基づく緊急輸送ルート及び緊急輸送道路の防災・改良工事を推進し、緊急通行車両の走行及び救命・救助活動等を支援する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		11,984	A	11,984	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29末	R2末	R4末
1	・緊急輸送道路等のネットワーク整備を行うことにより、（走行短縮時間×交通量）を増加させる。 （走行短縮時間×交通量を算出） =（箇所N1の整備前の走行時間×箇所N1の交通量）-（箇所N1の整備後の走行時間×箇所N1の交通量）（h・台/日）	0（h・台/日）	63（h・台/日）	90（h・台/日）

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	(国)265号・十根川 工区	バイパス L=2.8km	椎葉村						538	1.3	-
	A01-002	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	(国)327号・佐土の 谷工区	バイパス L=3.4km	椎葉村						1,784	1.6	-
	A01-003	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	(国)219号・小春工 区	バイパス L=1.7km	西米良村						1,886	1.1	-
	A01-004	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	(国)327号・尾平工 区	バイパス L=2.0km	椎葉村						3,709	1.9	-
	A01-005	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	(国)219号・岩下工 区	バイパス L=1.0km	西都市						1,755	1.1	-
	A01-006	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県	国道	改築	(国)219号・越野尾 工区	現道拡幅 L=0.78km	西米良村						933	1.48	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
道路事業	A01-007	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県		国道	改築	(国)219号・古仏所 工区	現道拡幅 L=0.5km	西都市						0	1.36	-
	A01-008	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県		国道	改築	(国)448号・石波工 区	バイパス L=3.2km	串間市						1,246	1.3	-
	A01-009	道路	一般	宮崎県	直接	宮崎県		国道	改築	(国)219号・越野尾 5工区	現道拡幅 L=1.2km	西米良村						133	1.5	-
												小計						11,984		
												合計						11,984		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 宮崎県県土整備部にて評価を実施	事後評価の実施時期 事業終了後
	公表の方法 宮崎県ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	緊急輸送ルート及び緊急輸送道路の整備により、交通の円滑化が図られ、地域防災に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	-
特記事項（今後の方針等）	
事業の全線供用のため、引き続き事業推進を図り、事業効果の早期発現を目指す。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	アクセス道路の整備を行うことにより、（走行短縮時間×交通量）を増加させる。	
	最終目標値	90（h・台/日）
	最終実績値	93（h・台/日）
		各工区の全線供用及び部分供用により、移動時間の短縮や走行性の向上が図られたことで、最終目標値以上の進捗となった。今後は、未完了工区の整備推進を図り、事業効果の早期発現を目指す。